第24号様式(第17条関係)

診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)備付届

　　年　　月　　日

　　大分県知事　　　　殿

住所

管理者

氏名

電話番号(　　)　　　―

　下記のとおり病院(診療所)に診療用高エネルギー放射線発生装置(診療用粒子線照射装置)を備えたいので、医療法第15条第3項及び医療法施行規則第25条(第25条の2)の規定により届け出ます。

記

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 病院(診療所)の名称及び所在地 | | 名称 |  |
| 所在地 |  |
| 又は粒子線照射装置の概要  高エネルギー放射線発生装置 | 製作者名 | |  |
| 型式 | |  |
| 台数 | |  |
| 定格出力 | 電子線 | MeV |
| エックス線 | MV |
| は粒子線照射装置を使用する者  高エネルギー放射線発生装置又 | 氏名 | 職種 | 放射線診療に関する経歴 |
|  |  |  |
| 予定使用開始時期 | | | 年　　　月　　　日 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| の構造設備及び予防措置  装置又は粒子線照射装置  高エネルギー放射線発生 | 発生管容器の漏えい放射線  (利用線錐の放射線量の1／1,000) | | | 以下・超える |
| 電路開閉時の不要放射線遮蔽装置 | | | 有・無 |
| 放射線発生時の自動表示装置 | | | 有・無 |
| インターロック | | | 有・無 |
| エックス線装置の併設 | | | 有・無 |
| 粒子線照射装置使用室の構造設備  高エネルギー放射線発生装置又は | 使用の場所 | |  | |
| 使用室画壁外側の実効線量 | | | 1ミリシーベルト／1週間  以下・超える |
| 出入口の数 | | | 通常出入口　　　　　　　　　　箇所 |
| 非常口　　　　　　　　　　箇所 |
| 放射線発生時の自動表示装置 | | | 有・無 |
| 標識 | | | 有・無 |
| 粒子線照射装置使用室の予防措置  高エネルギー放射線発生装置又は | 注意事項の掲示 | | 患者 | 有・無 |
| 従事者 | 有・無 |
| 管理区域 | 管理区域を設ける場所 | | 別添図面のとおり |
| 管理区域の境界 | | 1.3ミリシーベルト／3ヶ月を超えない措置  有・無 |
| 立入制限措置 | | 有・無 |
| 標識 | | 有・無 |
| その他 | 敷地内居住区域及び敷地境界における実効線量 | | 250マイクロシーベルト／3ヶ月を超えない措置  有・無 |
| 入院患者の被ばく防止病室における実効線量 | | 1.3ミリシーベルト／3ヶ月を超えない措置  有・無 |
| 従事者の被ばく測定器具 | | ガラスバッジ・ポケット線量計  その他(　　　　　　　　　　　　　　　　) |

注　1　隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用高エネルギー放射線発生装置又は診療用粒子線照射装置使用室の平面図及び側面図を添付すること。

　　2　使用室図は、照射方向、発生管の中心から天井、床及び周囲の画壁の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入した50分の1又は100分の1の縮図とすること。

　　3　管理区域の標識等の位置を使用室図中に記入すること。

　　4　漏えい放射線測定記録は届出に添付不要であるが、測定記録を保管しておくこと。

5　大分県外来医療計画で定める共同利用計画を添付すること。

参考様式（注５関係）

共同利用計画

年　　　月　　日

住所

医療機関名

管理者名

担当者名

連絡先

□共同利用を行う

＜医療機器＞

＜対象とする医療機関＞

＜保守・整備等の実施に関する方針＞

＜画像撮影等の検査機器については画像情報及び画像診断情報の提供に関する方針＞

□共同利用を行わない

＜共同利用を行わない理由＞